

# 全国高校サッカー選手権

代表決定戦(10日)

第97回全国高校サッカー選手権三重県大会の決勝が10日、鈴鹿市のスポーツの杜鈴鹿であり、四日市中央工が1-0で海星を下し、3年ぶり33回目の選手権出場を決めた。今年は一度も県大会を制していない四中工が、前半34分に挙げた1点を守り抜いた。

# 四中工3年ぶり三重代表

試合終了を告げる笛が響くと、選手権を最後に勇退する樋口士郎監督(59)が目からあふれ出る涙を腕でぬぐった。「慕われる。守備の要として、厚い信頼を寄せられるDFの山本主将(松本山雅FC内定)は「士郎さんのために戦っている大会」と特別な思いを胸に決勝に臨み、試合後は「全国で優勝してさらに泣かせたい」と誓った。値千金のゴールを決めた部員に「士郎さん」と喜に浸った。

FW森島も「次は学校がまだ成し遂げていない選手権での単独優勝」と目標を掲げた。

元日本代表で名古屋グランパスでもプレーした小倉隆史ら数々のプロ選手が輩出した四中工。1995年から率いてきた樋口監督は「能力のある2年生の力を選手権で引き出したい。全国で力を出し切れるよう、もう一度鍛え直す」と次を見据えた。(末松茂永)



選手らと優勝を喜ぶ四日市中央工の樋口監督(前列左から4番目)―鈴鹿市のスポーツの杜鈴鹿で(末松茂永撮影)

## 監督勇退「士郎さん」全国Vで再び泣かせたい

- ▽栃木 矢板中央2 (0-0) 0佐野巨大 (矢板中央は2大会連続9度目出場)
- ▽山梨 日本航空2 (1-0) 0帝京三 (日本航空は6大会ぶり2度目出場)
- ▽富山 富山第一3 (2-0) 0高岡第一 (富山第一は4大会連続29度目出場)
- ▽岐阜 岐阜工2 (0-0) 1中京学院大 (岐阜工は4大会ぶり26度目出場)
- ▽島根 立正大浜2 (1-1) 1大社南 (立正大浜南は3大会連続17度目出場)
- ▽香川 那覇西2 (1-0) 1西原 (那覇西は2大会ぶり16度目出場)
- ▽四国学院2 (1-0) 0大手前高 (四国学院大香川西は4大会ぶり11度目出場)
- ▽徳島 徳島市立1 (1-0) 0徳島北 (徳島市立は2大会ぶり16度目出場)
- ▽愛媛 宇和島東2 (0-0) 0八幡浜工 (宇和島東は8大会ぶり5度目出場)
- ▽福岡 東福岡2 (1-0) 1筑陽学園 (東福岡は6大会連続20度目出場)
- ▽沖縄 那覇西2 (0-1) 1西原 (那覇西は2大会ぶり16度目出場)

◆全国高校サッカー愛知県大会(10日・パロマ瑞穂)  
 ▼準決勝 名古屋1-0中京大  
 中京、東邦1-0名経大高蔵